

コース 番号	開催 会場	研修コース名	研 修 内 容	実施 形態	講 師 ＜所属＞	定員	実施 回数	研 修 日 程	開催 会場
■3 生産・品質 ■									
34	盛岡	I S O 9 0 0 1 内 部 監 査 員 養 成	パフォーマンスの向上や品質マネジメントシステム／プロセスの改善に役立つ、内部品質監査の視点と監査の方法について学びます。 【対象者】 品質マネジメントシステムの構築に携わっている方、企業内でISO9001の内部品質監査員として活躍やレベルアップを目指す方	講義	千田 守 ＜日本品質保証機構 ISO東北事務所＞	30	1	6/23. 24	盛岡
35	水沢					30	1	6/14. 15	水沢
36	宮古					20	1	10/5. 6	宮古
37	二戸					20	1	10/25. 26	二戸
38	盛岡	新 ISO9001/14001 内 部 監 査 員 養 成	ISO9001 及び ISO14001 を事業活動に統合した統合マネジメントシステムに対する監査の視点と監査の方法について学びます。 【対象者】ISO9001/ISO14001 の統合内部監査員を目指す方。 現在 ISO9001 内部監査員でISO14001 内部監査員の力量を身に付けたい方、またはその逆の方			20	1	11/15. 16	盛岡
39	盛岡	I S O 1 4 0 0 1 内 部 監 査 員 養 成	ISO14001 要求事項と内部環境監査の方法をケーススタディ等を通じて理解し、内部環境監査員としての能力を備える基礎とします。 【対象者】 環境マネジメントシステムの構築に携わっている方、及び企業内で内部環境監査員として活躍することを目指す方	講義	齋藤 一郎 ＜JQA認定主任審査員＞	30	2	① 6/7. 8 ② 7/5. 6	盛岡
40	水沢					30	1	10/12. 13	水沢
41	宮古					20	1	9/6. 7	宮古
42	盛岡	ISO内部監査システム レ ベ ル ア ッ プ	形骸化しがちな内部監査システムの改善ポイントと、監査員力量アップのための実践的訓練を、現役ISO審査員が指導します。 【対象者】 ISO9001／14001認証登録後3年以上の組織に所属し、3回以上の監査経験のある内部監査員、管理責任者	講義	菅原 尚史 ＜クオリティマネジメント 研究所＞	30	1	9/27. 28	盛岡
43	盛岡	品 質 管 理 Ⅰ（基礎編）	QCの七つ道具（統計的手法）について学びます。 【対象者】 品質管理を初めて学ぶ方	講義	今野 六郎 ＜QCサークル上級 指導士＞	30	1	5/17. 18	盛岡
44	水沢					30	1	9/13. 14	水沢
45	盛岡	品 質 管 理 Ⅱ（応用編）	QCの七つ道具を活用した推進、展開方法について学びます。 演習課題を使い職場の改善活動への取り組み方、QC手法の効果的な適用方法について学びます。 【対象者】 品質管理Ⅰを受講した方、QC検定3～4級取得を目指す方			30	1	8/18. 19	盛岡
46	水沢					30	1	12/7. 8	水沢
47	盛岡	ヒューマンエラー 防 止	ヒューマンエラーの基本理論に加えて、ポカミス対策の発想力、実践力を身に付けます。 【対象者】 管理者、安全担当者、現場監督者等			30	1	10/4. 5	盛岡
48	水沢					30	1	7/12. 13	水沢
49	盛岡	リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト （ 危 機 管 理 ）	国際リスクマネジメント規格であるISO31000等を参考に、自然災害や大事故に備え、不祥事リスクも含めて組織等の災害危機管理の成功例や失敗例をもとに、対応方法について学びます。					20	1
50	盛岡	T P M 実 践	TPMは「災害ゼロ」「不良ゼロ」「故障ゼロ」等、ものづくり現場のあらゆるロスを未然防止するしくみを構築する活動です。その要点について事例をもとに学びます。 【対象者】 保全担当、TPM担当、管理者他	講義	小石川 紳 ＜元東北佐竹TPM 推進室＞	30	1	11/1. 2	盛岡
51	盛岡	生 産 管 理 の 基 礎	仕事の全体像が把握でき、仕事を行ううえで前提となる基本的知識を習得し、広範囲な知識をコンパクトに学びます。 【対象者】 新たに、生産に関わる業務を担当される方	講義	産業技術短期 大学校講師	20	1	6/28. 29	盛岡
52	盛岡	自 主 保 全 の 基 礎	機械操作のオペレータとして、必要となる担当機械の日常点検、簡単な修理を実施できる自主保全の知識を習得します。 【対象者】 工作機械のオペレーターとして新たに担当される方等			20	1	7/21. 22	盛岡
53	盛岡	制 約 条 件 の 理 論 （ T O C 基 礎 ）	受注予測から資材手配・製造・販売・物流に至るサプライチェーンの制約条件（ボトルネック）に着目して、ドラム・バッファ・ロープ（DBR）という同期化の手法を用いて全体最適化を目指す手法（TOC）の概要を学びます。 【対象者】 生産に関わる業務を担当されている方			20	1	9/15. 16	盛岡

＜注記＞
※1. ①②は、同じ内容で実施します。
※2. 最少開催人数等については、各実施担当施設にお問い合わせください。